



児童養護施設 合掌苑 〒501-4101 岐阜県郡上市美並町上田 674

電話 0575-79-2914

FAX 0575-79-3584

## 「家庭的養護に向けて」

合掌苑 苑長 成澤 武史

今年度がコロナ渦の中に始まり、早半年が過ぎました。皆様におかれましても、コロナウイルス感染症からの脅威と向き合いながら、日々「新しい生活様式」なる生活を実践されていることと思います。当苑においても今年度はこうした対応で終始してしまいそうですが、今年度は、より家庭的な養育を目指して作成された社会的養育推進計画の実行初年度です。コロナウイルスが経済に与えた影響のしわ寄せが、社会的弱者と呼ばれる子ども達にあってはならないし、年々増加している児童虐待相談件数への対応は常に迫られています。だからこそこの計画の実行に取り組んでいかなければいけないと思います。

岐阜県においても、今年度、子ども相談センター(児童相談所)と子ども家庭支援センターにフォスタリング機関が設置されました。里親のリクルートから研修、委託から支援まで切れ目のない支援を目的としています。児童養護施設にも里親支援専門相談員が設置されていますので、一体となって里親支援機関の一部を担っています。

施設でもより家庭的な温かい環境で子ども達を養育できるよう、私たちも努力を重ねています。当苑においても地域における小規模ホームを立ち上げました。地域の「家」をお借りし、子ども6人と職員が生活をしています。そのホームは男女別や年齢別ではなく、兄妹だけで生活を共にし兄妹として成長することが出来ます。ホーム内で開いた兄妹の一人の誕生日会では、上の子から「成長を見守っているよ」という頼もしい言葉が聞かれ、兄弟としての成長が感じられて大変嬉しくなりました。

施設の本体においては、一時保護やショートステイなどの短期滞在から、数年間入所して家庭復帰もしくは自立や進学で退所するなどの長期の子までおり、その時その場のその子に応じた様々な支援が必要とされています。そういった子ども達を、より落ち着いた家庭的環境で受け入れることが出来、子ども達が安心・安全を感じられるよう、より小規模で個別で関わることが出来る生活様式を目指しています。

上述した社会的養育推進計画において、施設の小規模化が柱の一部になっております。同じ県で生まれ育っているながら家庭という出生の違いで子どもの権利に差異が生じないように、施設でもより子ども達を大切にしていきたいです。これまで以上に一層精進して参りますので、皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。



横断幕に、子ども達が手形と自分の夢を描きました。



## 合掌苑の職員さん



合掌苑には、様々な職種経歴の職員がいます。このコーナーでは、その職種の紹介を兼ねて、仕事への思いを話してもらおうと思います。第2回目は、家庭支援専門相談員の末松先生です！

### 「デジタル化」と「心が動く」

家庭支援専門相談員 末松正子

私が、ここにお世話になり24年の月日が過ぎ、振り返ってみた時、“おかげさま”という言葉が頭を過ぎります。24年前、子育て真っ只中で勤め始め、この長い年月を考えると、続けられたのは私の努力では決してなく、苑の子ども達・職員さん、地域の方、家族、友達等、皆さんのおかげで勤めることができたと感じています。本当にありがとうございます。そして、今思うこと2点についてお伝えしたいと思います。



1つ目は、仕事のデジタル化です。私が、働いている中で変わってきたことは、まず、養護日誌が紙での管理からパソコンを使うシステムでの管理になりました。また、職員間での連絡や情報共有のためにLINEワークスを利用することになったり、高校生がほぼ100%携帯電話を所持するようになったり、細かく考えるとまだまだあります。社会を見渡すと、この未曾有のコロナ事情で、リモートワーク化するなど、どんどんデジタルな世の中になっていきます。確かに便利でおもしろいといった事も感じますが、私自身デジタル化についていこうと努力はしていますが、硬くなった頭では限界があり難しさを感じています。そんな中で今思うことは、大人と子どもは今まで以上に多くの会話をとり、目を見て話すことが大切な世の中になったのではないかということです。デジタルで便利になった分失われがちな、人間関係の基本的な所、コミュニケーション力・協調性が子どもたちに少しでも身につくことを願いこれからも関わっていきたいと思います。

2つ目は、最近雑誌を見ていたら、「痺れた曲に出会えたか」という言葉を目にし、“心が、動く”という事について考えました。今までの仕事の中で、多くの子どもたちとの出会いがありました。其中で自分の心が動いたと感じたこと、子どもの心を動かせたと思ったことが何度あったかなと振り返りながら、私たちの仕事は、“心”というところの関係を問われる職業であることを改めて感じています。心が動くというのは、喜怒哀楽のような動きではなく、もう少し大きな動きの事です。例えば、子どもたちに色々な指導をする中で、如何に納得できる話ができるか。如何に考える材料にできたか。という事です。心が動く指導ができれば、子どもたちの行動が変わり、生活が変わり、人生が変わると信じています。

しかし、実際は子どもたちに指導したことに、身体は動いても納得や理解ができていないことを感じたり、会話をしても覚えていないと言われることもたくさんありました。それは、伝え方の問題であったり、私が話すことに“心”がなかったのではないかと今でも反省しています。この仕事に就かれる職員さんへ伝えたいのは、皆“心”があるという事です。子どもとの1つひとつの会話・子どもの動きを真摯に受け止め丁寧な対応をしていく心構えであって欲しいと思います。

最後に、私が仕事の中で、大切にしたいのは職員関係です。「職員同士仲が良いなあ。」と子どもの話を耳にすることがあり、嬉しく思うことがあります。只、“なあ～なあ～な関係”にならないよう、意見が言える上下関係、職員同士、話し合いの出来る関係・困難な問題が起きたときは職員一丸となって対応していける関係でありたいと思います。そして、子ども達については、生活の中で少しでも笑顔になれるよう、自立に向けた支援に当たりたいです。

私は、半沢直樹さんの言葉を拝借して、仕事を終える日まで、“感謝と恩返し”の気持ちで働きたいと思いますので、宜しくをお願いします。



## 苑内運動会

室内にいる時間が増えて運動不足になりがちなのと気持ちの発散もかねて、体育館でいくつかの競技を行いました。思い切り身体を動かして楽しそうでした。



## ～合掌苑今日この頃～

コロナウイルスに感染しないよう中々外出もできない近頃です。合掌苑でも同様に息苦しい日々でしたが、なんとか苑内での生活を充実できないかと考え、感染対策に力をいれて十分に気を付けて活動を行いました。こんな時だからこそ、子ども達に楽しい思い出も残せていたら良いと思います。



## 苑内 BBQ

敷地内で、BBQを行いました。なるべく小分けにしたり自由におかずを取れないなど、制限がある中でしたが、秋の味覚を用意して季節を感じられたかなと思います。

## 新しい生活様式

何が変わった？

どうなった？

今年度はコロナウイルスの影響で、変化を強いられる生活になってしまいました。そんな中で、逆にこれまで出来なかった新しい挑戦や、頑張りなども見えてきたように思います。そんな前向きな変化をアンケートで調査してみました☆



トイレの電気を消すようになった  
(中2男子)

ギターに費やす時間が  
増えた(高3女子)

本や漫画を読んだりゲームをよく  
するようになった(中1男子)



小中学生との関わりが  
増えた(高3女子)

Q1. 新しくできた習慣、

良くなるようになったこと

ブランドマスクの購入  
(職員)

睡眠時間が長くなった  
(中3男子)

youtubeをよく見るように  
なったし、勉強やる時間が  
増えた(中2女子)



マスクやこまめな消毒を行う  
生活に慣れたこと(職員)

庭の草取り(職員)

夢を目標にして1日1日を過ごす  
ようになった(中3女子)

勉強の時間を作るようになったし、筋  
トレをするようになった(中2女子)

お金が  
なくならない  
(高2女子)



## Q2. 自粛生活のおかげだと

色付きのマスクを使える  
ようになった(職員)

ゲームが楽しくなった  
(中2男子)

### 思っていること



車のガソリンが減ら  
なくなった(職員)



子どもと一緒に考えて、  
新たな活動、取組がで  
きたこと(職員)

家に引きこもって  
いても周りに何も  
いわれない(職員)

手洗いうがいアルコール消毒に気を  
遣うようになった(高3女子)



たくさん食べるようになったか  
ら筋トレを始めた(中3女子)

## Q3. 生活の中で

免疫力を高める為、  
R-1を家族で飲む  
ようになった(職員)

### 工夫していること



お店にいる時間を減らすため、  
必要な物や目的をきめるよ  
うになった(職員)

## Q4. その他意見



コロナの生活に関わらず、部活、バイト頑張ってまーす!(高2女子)



## 「温かい心」 (令和2年4月～令和2年9月)

合掌苑の苑児たちに沢山の方々から、温かいご支援を賜りました。略儀ながら紙面にお名前を掲載して御礼の言葉にかえさせていただきます。ありがとうございました。

池戸 義雄	石川 宗一郎	石田 秀夫	市原 美知	一柳 芳之	岩腰 加奈
岩田電気株式会社	内海 幸三	梅田 洋子	延寿寺	大石 寿司	大垣 共立銀行
大島 哲夫	岡本 茂穂	加藤 一朗	株式会社GKS	河合 十明子	河合 清司
河村 一成	岐阜県子ども家庭課		岐阜県新型コロナウイルス感染症対策チーム		
岐阜フットボールクラブ		岐阜県清流の国推進部地域スポーツ課			国田 祐子
小鷹 啓徳	佐川急便株式会社	サンテ(株)	清水 紀子	清水 建工	下條 早苗
親切会 中部支部	鷺見 明	すみれ愛育館	中日新聞社会事業団		高垣組
土屋 栄二	土屋 早織	長尾 千之	長尾 とも子	日本コカ・コーラ株式会社	
浪岡 育子	額田 紗央音	パシフィコエナジー(株)		畑佐 和昭	羽田野木工所
服部 不美恵	ビッグスワン理美容業合同会社		古川 篤仙	古田 義治	北師会
ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社			松森 久子	宮内 明美	武藤 茂子
めぐみの農業協同組合		八木 裕美子	屋久島東部茶生産組合		柳田 デン
山口 久仁子	山口 千賀子	山崎 美佐代	山田 良人	有限会社ダスカジャパン	
レスキュードローン(株)		連合岐阜	和田 恵美子	和田 幸子	和田 登三子
渡辺 義明	(株)27 かつ弥	(株)いずみドレス	(株)エースフードジャパン		(株)カルナック
(株)シーテック	(株)たかくら新産業商品センター		(株)チュチュアンナ	(株)ハーモニックリレーション	
(株)フレーベル館					

★勝手ながら敬称を省略させていただきました。万一誤表記、掲載漏れがございましたら、なにとぞご容赦願います。

## <後援会「友の会」について>

- ・親と一緒に暮らせない子どもであるからこそ、豊かな生活・豊かな環境が保障されなければなりません。この為にも合掌苑では後援会組織「友の会」を結成しております。
  - ・会費3,000円、皆様のお力添えをお願い致します。
  - ・詳細については、「友の会」事務局、合掌苑までご連絡下さい。
- ☆ 友の会としてご入金いただいたお金は、合掌苑 施設会計に寄付金として計上し、子ども達の生活に役立たせていただきます。今後とも皆様には引き続き倍旧のご厚情を賜りたく、お願い申し上げます。皆様のご健康とご発展をお祈り申し上げます。

## 編集後記

日増しに秋の深まりを感じるようになりましたが、今年はコロナの影響で気ままに出かけることもできず合掌苑ではおうち時間が増えている状況です。苑では子どもたちにコロナの間でもいい思い出を作られるようウイルスに気をつけながら楽しめる生活を考えて実施しています。コロナウイルスと共存する生活にも慣れてきて気持ちも緩みがちですが、今一度子ども、職員共に気を引き締めてこの状況を乗り越えていきたいです。

合掌苑だよりのご意見・ご感想も随時お待ちしておりますので合掌苑ホームページのお問合せフォームか、Eメールよりご連絡いただければ幸いです。今後とも合掌苑をよろしくお願い致します。